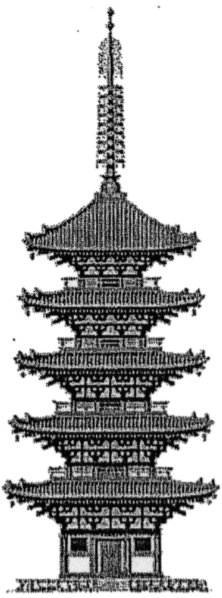


弘法さんかわら版

発行編集部
大塚耕平事務所
☎052-757-1955
kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。九月になりましたがまだまだ暑い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。

昨年「尾張名古屋・歴史街道を行く」杜寺城郭・幕末史」をお送りしています。今年も中世鎌倉街道を東から西に歩いていきます。題して**鎌倉街道を歩く**。今月は**真清田神社**を参拝します。

★真清田神社

先月は勝幡城に寄り道しましたが、北上して**鎌倉街道**を進みます。妙興寺から一里ほど北にあるのが**真清田神社**です。

社伝では、祭神の**天火明命**(あめのほのあかりのみこと)が大和国葛城地方の**高尾張邑**を出て、当地で鎮祭されたのが始まりとされています。つまり、都からやって来た**尾張氏の祖先**が祭神ということになります。

先代旧事本紀や天孫本紀に登場する尾張氏一族の**倭得玉彦命**が尾張を支配していた時期に神社が創祀され

たと伝わります。尾張国創世期に誕生した神社です。

平安時代より国司赴任の際に最初に参詣する神社が一宮と呼ばれましたが、真清田神社は**尾張国一宮**です。この地域の一宮の地名は真清田神社の社格に由来します。

一宮に次ぐ**尾張国二宮は大縣神社**、三宮は**熱田神宮**とされます。

★祭神変遷

祭神を**天火明命祭神**とする説は江戸時代に唱えられたものです。それ以前には、**国常立尊祭神**や**大己貴命祭神**など、別の神を祭神とする複数の説が存在しました。

国常立尊祭神説は、室町時代末期頃の**真清田神社縁起(古縁起)**に記される説で、最も古い時代に遡ります。国常立尊は、神話では天地開闢の時に最初に現れた神です。

しかし近年では、古縁起が真清田神社を**日本一宮**と記していることから、伊勢神宮と比肩するため、より古い国常立尊が持ち込まれたとの見方があります。

一方、**大己貴命祭神説**は**大日本国一宮記**に記された説で、室町時代末期から江戸時代初期頃に遡ります。

中世末期から江戸時代までは国常立尊祭神説が主流でしたが、明治になると祭神は国常立尊のほか、**天照大御神・月夜見神・大己貴神・大竜**

王神の五柱とされました。

しかし**特選神名牒**において、天照大御神が**天火明命**(天照国照彦天火明尊)の誤記と見なされ、かつ他の四柱が省略されて**天火明命一柱**とされ、以後は現在まで**天火明命一柱説**が採用されています。

祭神を巡る変遷と背景はともかくとして、とにかく由緒が古いのが真清田神社。尾張国が誕生した頃から続く尾張国一宮です。

★尾張氏は鏡作部

現在の説に従えば、祭神は天火明命です。日本書紀や古事記では**天火明命**は**天照大神の孫神(天忍穗耳命の子神)**とされ、先代旧事本紀では**饒速日命**と同一視されています。

社名の「**ますみ**」を**真清鏡(ますみのかがみ)**、つまり鏡に由来する者として、尾張氏を**鏡作部(かがみづくりいべ)**とする説もあります。

鏡作部は、古代において鏡の製作に従事した工人集団のことを指します。

文献における漢字表記は「**真清田**」「**真墨田**」の二種類が存在します。延喜式は「**墨**」を用いています。その後は「**清**」の表記が定着しました。

延喜式には美濃国各務郡に**真墨田神社**の記述があります。古代以前の伊勢湾の海岸線は尾張北部であり、尾張氏は美濃にも居住していましたので、そのことと関係があるのかもしれない。

★桃花祭(とうかさい)

創建日とされる四月三日に行われる例祭は**桃花祭**として知られています。

その昔は神社周辺に桃の木がたくさんあり、人々は桃の木の枝で身を清め、枝を木曾川に流して五穀豊穡を祈るようになったそうです。

真清田神社は古来多くの社領を有し、それらは**真清田荘**として荘園化しました。一二三五年の文獻によると、社領は中島郡のほか葉栗郡、愛智郡、海東郡、海西郡一帯に広がっていました。

真清田荘は院政期の**八条院領五荘**のひとつであり、江戸時代の尾張名所図会にも詳しく紹介されています。十五世紀前半からは**佐分氏**が神職を務めるようになり、幕末まで世襲しました。

一五八四年の**天正大地震**で社殿が崩壊、**豊臣秀吉**に社領も没収されて社勢は衰えました。江戸時代に入ると**徳川氏**から庇護を受けて復興。清洲藩主**松平忠吉**、尾張藩主**徳川義直**から寺領の寄進を受け、四代将軍**徳川家綱**からは朱印状が下されています。

真清田神社の東には、**倭姫命(やまとひめのみこと)**ゆかりの**浜神明社**があります。倭姫命は十一代垂仁天皇の第四皇女で、大和朝廷の祖神**天照大神**のご神体を奉じ**尾張國中島宮**に逗留し、天照大神を伊勢の地に祀りました。つまり、**齋宮(いつきのみや)**の伝説上の起源とされる人物です。

浜神明社は伊勢神宮逢原所であったことから、鎌倉街道も神社前を迂回したと言われています。

★黒田宿と黒田城

来月は鎌倉街道をさらに北西に進み、**黒田宿**と**黒田城**を訪ねます。乞ご期待。

